

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	林 昭雄	電 話	483-1151 内線：3220
-----	-------	-----	---------	------	------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3244		事務事業名称	衛生センター施設管理事業					短縮コード	経常	3244	臨時	3245
予算区分	会計	01	一般会計	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	03	し尿処理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
昭和40年に日量36klの処理能力を有する吉橋処理場の完成と同時に開始される。 し尿及び浄化槽汚泥処理施設の維持管理。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
衛生的で快適な生活を営むため、公共下水道の普及や浄化槽への切換えで、し尿の汲取り世帯は毎年減少している。しかし一方では、住宅建設などの工事現場での汲取り業務が一定量ある。					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	04	し尿処理						
					小項目（施策）	01	処理体制の整備						
					細 項 目	01	衛生センターの適正な管理運営						
02	衛生センターの改修												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	し尿処理施設								
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： 財団法人八千代市衛生公社へ衛生センターの維持管理業務の委託を行う。 調整槽等清掃業務委託を行う。								
	※平成18年度に計画していること： 衛生センター改修工事(脱臭設備更新)を行う。								
意図 （何を狙っているのか）	施設の適正な維持管理を行う。								
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	適正処理される。								
区 分				単位	16年度	17年度		18年度	
					実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	し尿汲取り人口と浄化槽人口	人	182,915	182,915	184,979	184,979		
	指標2								
	指標3								
活動指標	指標1	し尿，浄化槽汚泥の処理量	kl	9,910	9,910	9,847	9,847		
	指標2								
	指標3								
成果指標	指標1	施設の稼動日数	日	365	365	365	365		
	指標2								
	指標3								
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード	3244	事務事業名称	衛生センター施設管理事業			所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			し尿及び浄化槽汚泥処理施設の維持管理は今後とも必要であるため、現状の施設を維持するため、老朽化に伴う修繕を行っていく。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			し尿及び浄化槽汚泥処理施設の維持管理は今後とも必要であるため、現状の施設を維持するため、老朽化に伴う修繕を行っていく。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特に無し	

所属長コメント	地方自治法第2条、廃棄物処理法第6条の2の規定により、一般廃棄物の処理については市の固有事務である。今後、し尿の収集量の減少に伴い事業を見直す時期が来ると思うが現時点では未定である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	今後は有効性と効率性を検討していくべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		